

2019年8月30日

## 「めぶき地域創生ファンド」による第10号案件への投資について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 笹島 律夫）と足利銀行（頭取 松下 正直）は、このたび、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長 西澤 敬二）との共同出資により設立した「めぶき地域創生ファンド」（以下、「当ファンド」）の第10号案件として、株式会社ワンテーブルへの投資を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

めぶきフィナンシャルグループ各社は、今後とも、地域の課題解決に積極的に取り組み、地域社会・地域経済の発展に貢献してまいります。

### 記

#### 【投資案件の概要】

投 資 日	2019年8月30日
投 資 先	株式会社ワンテーブル
代 表 者	代表取締役 島田 昌幸
所 在 地	宮城県多賀城市八幡字一本柳 117 番地の 8
企 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域創生にかかる企画立案等のコンサルティング業務</li> <li>・ 備蓄、防災商品の製造販売</li> </ul>
投 資 概 要	<p>株式会社ワンテーブルは、東日本大震災の経験をもとに、被災地での教訓を生かしたゼリー状の新たな防災備蓄食の開発に成功し、今後、全国規模での拡販を行っていきます。開発された商品は、長期保存可能で要配慮者も摂取可能なことから、従来の防災備蓄食に欠けていた要素を補うことが期待されます。</p> <p>本件は、当ファンドによる資金を活用することによって、防災備蓄食の量産化、更なる商品開発を進めるものです。世界的に頻発している自然災害において、被災者の健康を守るために必要な食事環境問題への貢献や防災備蓄食の生産を通じ、新たな産業振興と雇用促進が期待できるなど、当ファンドの取り組み趣旨に合致することから、投資を実施いたしました。</p>

以 上

(別紙)

(ご参考)

○「めぶき地域創生ファンド」の概要

名 称	めぶき地域創生ファンド（めぶき地域創生投資事業有限責任組合）
対 象	常陽・足利両行の茨城・栃木県を中心とする営業地盤において、「食・農・観光」分野の振興に資する事業、ならびに地域の発展に資する事業を行う事業者（農業法人を含みます）
ファンド規模	40億円
組 合 員 構 成	(株)常陽銀行、(株)足利銀行、損害保険ジャパン日本興亜(株) (株)常陽産業研究所、(株)あしぎん総合研究所
存 続 期 間	10年間（2016年11月14日～2026年10月31日）
業務運営（GP）	(株)常陽産業研究所、(株)あしぎん総合研究所

○「めぶき地域創生ファンド」スキーム図

※（ ）内は出資額  
※LP：有限責任組合員  
※GP：無限責任組合員

